



会報

No.34

2014年 8 月25日発行

発行／日本コンプライアンス・オフィサー協会 発行責任者／菊池一男
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町 3 番21号 電話 (03) 3267-4826 ホームページ <http://jcoa.khk.co.jp/>

不祥事による企業責任の範囲をどう捉えるか

この2014年7月に2つの大きなコンプライアンス違反事件が社会問題化したことは、記憶に新しいことと思います。

1つは、大手教育産業B社から大量の顧客情報が流出した件です。新聞報道等によると、B社の関連会社の業務委託先のSEがお金に困って、複数の名簿業者へデータベースのB社顧客名簿を販売し、入手した通信教育事業会社はその情報を流用していたということです。B社の社長は、事件が発覚した当初は、情報を入手し流用した通信教育事業会社の対応に不快感を表すなど、一見すると被害者の立場をとっていたことが社会の批判を浴びたこともあって、その後の記者会見では「お客様にご迷惑とご心配をおかけしている加害者であることは明確」と認め、内部の管理態勢を強化することやお客様からの信頼回復に努めることを表明しました。

もう1つは、中国の食品会社から品質保持期限切れの食肉を日本の大手ファストフードチェーンM社やコンビニエンスストアF社が仕入れていたことで、安心・安全上の不安が消費者に広まったというものです。この事件は、問題の加工現場を映像で見る限り、工場の従業員が床に落ちた食肉を手荒い動作で拾って元に戻していたり、肉の表面が変色した食肉を新鮮な食肉に混ぜるなど、不衛生さの極みを見せつけられ、たいへんショッキングなものでした。M社は事件発覚から約1週間後に会見を開き、社長が「お客様に懸念、心配をおかけしたことを深くおわびする」と謝罪し、一方で中国の食品会社について「がっかりして憤り

を感じた」「悪意をもった数人の従業員の行動」と怒りをあらわにしました。

これら2つの事件に共通することは、前者は関連会社の業務委託先によるコンプライアンス違反、後者は食材の仕入れ先によるコンプライアンス違反であり、ともに自社の従業員によるものではないということです。「B社もM社も被害者であり、お気の毒」との心情的な声も聞こえなくはありませんが、企業の社会的責任の観点からは、そのブランドを信じて個人情報を提供したり、商品を購入した消費者（顧客）を欺いてしまったことの批判は免れることはできません。

企業の社会的責任（CSR）をどう考えるか。B社の場合は関連会社を含めた業務委託先に対する個人情報保護と漏えい防止に関する管理責任、M社の場合は仕入れ先、すなわち製造の各過程で関わるサプライヤー（供給者）が法令違反等の問題を起こしていないかどうかをチェックする責任が問われます。

自社の従業員ではない、「悪意をもった数人の従業員の行動」によるコンプライアンス違反をどう防ぐか。企業は、外部の関係者に対しても、自社の従業員と同レベルのコンプライアンス教育、実践、モニタリングを粘り強く行っていく体制を作り上げることの責任を負っており、そして発生した以上は、潔く責任を認めて迅速、的確に対応することが求められるのです。

（日本コンプライアンス・オフィサー協会
事務局長 菊池一男）

コンプライアンス・個人情報保護 オフィサー認定試験 成績結果

去る6月1日(日)に実施いたしました第32回コンプライアンス・オフィサー認定試験、および第15回個人情報保護オフィサー認定試験の試験結果がまとまりましたのでご報告いたします。

コンプライアンス・オフィサー認定試験

●金融コンプライアンス・オフィサー1級

成績結果は、〔表-1〕のとおりです。

応募者数811名中受験者数は603名で、認定者数は181名でした。認定率は30.02%、平均点は53.03点で、認定率は前回より上がりました。

問題では、〔問題-4〕利益相反取引、〔問題-7〕断定的判断の提供、〔問題-8〕公的機関からの照会、が低調でした。これらは、関連する内容がしばしば出題される項目の問題で、基本的な知識を問うものですが、残念な結果となりました。

なお今回、刑法の分野から、「業務上横領罪」と「背任罪」の2問が出題されましたが、「背任罪」については、比較的よく理解できている答案が多く見受けられました。

●金融コンプライアンス・オフィサー2級

成績結果は、〔表-2〕のとおりです。

応募者数6,715名中受験者数は6,185名で、認定者数は4,613名でした。認定率は74.58%、平均点は66.97点で、認定率は、前回が低めであったこともあり、大きく上がりました。

正解率が30%を下回った問題は、〔問-5〕金融検査マニュアルにおけるコンプライアンス統括部門の役割・責任、〔問-21〕白地手形、〔問-22〕業務上横領罪、〔問-31〕金融商品取引法における禁止行為、の4問で、前回の7問より3問減りました。

これらのうち、手形・小切手関連の問題に関し

ては、毎回、正解率が低い傾向にあります。金融業務において基本的な知識ですので、しっかりと理解しておく必要があります。

個人情報保護オフィサー認定試験

●金融個人情報保護オフィサー2級

成績結果は、〔表-3〕のとおりです。

応募者数4,226名中受験者数は3,860名で、認定者数は1,851名でした。認定率は47.95%、平均点は58.77点で、認定率は前回より上がりました。

マークシートの結果を前回と比べてみますと、正解率が30%を下回った問題は1問で、5問減りました。一方、正解率が80%以上の問題は9問で、7問増えました。全体的に正解率が好調であったことから今回の結果になりました。

記述式の結果をみますと、〔問-36〕保有個人データについては、個人情報、個人情報データベース等の定義をしっかりと記述することができるかどうかポイントとなりますが、低調な結果となりました。

〔問-37〕センシティブ情報の例外取得については、①、②と出題内容を細分化しているため解答しやすい問題でしたが、大方の解答は、個人情報保護法と金融庁ガイドラインとの関係についての理解が不十分のためか、平均点も高得点とはなりませんでした。

〔問-38〕個人データの外部委託については、適法か違法かについて、多くの受験者が適法であると解答しており、概ね正しく理解されていました。しかし、答案作成にあたっては、個人情報保護法上は例外的にA社が「第三者」に該当しないことをしっかりと記述することが重要であり、やや低調な結果となりました。

〔表－１〕 金融コンプライアンス・オフィサー１級 業態別成績一覧表

	都・ 特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数(名)	11	288	143	38	169	17	23	19	2	0	0	101	811
応募比率(%)	1.36	35.51	17.63	4.69	20.84	2.10	2.84	2.34	0.25	0.00	0.00	12.45	100.00
受験者数(名)	8	238	103	28	128	12	20	11	1	0	0	54	603
受験率(%)	72.73	82.64	72.03	73.68	75.74	70.59	86.96	57.89	50.00	0.00	0.00	53.47	74.35
認定者数(名)	3	63	53	6	17	1	4	5	1	0	0	28	181
認定率(%)	37.50	26.47	51.46	21.43	13.28	8.33	20.00	45.45	100.00	0.00	0.00	51.85	30.02
平均点(点)	52.50	53.23	56.49	52.89	47.83	50.08	52.65	56.55	66.00	0.00	0.00	57.87	53.03
年齢(歳)	43.4	37.3	38.8	41.8	42.1	39.8	44.7	38.4	36.0	0.0	0.0	41.7	39.6
勤続年数(年)	21.3	14.8	16.4	18.7	19.0	16.8	21.1	15.5	12.0	0.0	0.0	15.4	16.5

※ 認定基準は60点(以上)です。表中の平均点・年齢・勤続年数は受験者の数値です。

〔表－２〕 金融コンプライアンス・オフィサー２級 業態別成績一覧表

	都・ 特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数(名)	297	1,029	530	347	1,424	531	1,244	115	45	1	3	1,149	6,715
応募比率(%)	4.42	15.32	7.89	5.17	21.21	7.91	18.53	1.71	0.67	0.01	0.04	17.11	100.00
受験者数(名)	275	964	497	325	1,334	485	1,145	107	36	0	3	1,014	6,185
受験率(%)	92.59	93.68	93.77	93.66	93.68	91.34	92.04	93.04	80.00	0.00	100.00	88.25	92.11
認定者数(名)	264	811	469	238	990	254	655	87	33	0	3	809	4,613
認定率(%)	96.00	84.13	94.37	73.23	74.21	52.37	57.21	81.31	91.67	0.00	100.00	79.78	74.58
平均点(点)	73.71	69.55	74.09	66.52	66.58	60.09	61.84	68.54	73.00	0.00	76.00	68.57	66.97
年齢(歳)	30.8	30.8	30.2	28.9	32.0	30.0	37.5	30.4	41.2	0.0	46.0	33.5	32.6
勤続年数(年)	7.6	7.8	7.3	6.4	9.7	7.7	14.0	5.6	15.4	0.0	15.7	8.8	9.3

※ 認定基準は60点(以上)です。表中の平均点・年齢・勤続年数は受験者の数値です。

〔表－３〕 金融個人情報保護オフィサー２級 業態別成績一覧表

	都・ 特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数(名)	33	697	46	139	598	191	1,979	53	105	0	7	378	4,226
応募比率(%)	0.78	16.49	1.09	3.29	14.15	4.52	46.83	1.25	2.48	0.00	0.17	8.94	100.00
受験者数(名)	28	632	42	125	547	168	1,871	47	65	0	7	328	3,860
受験率(%)	84.85	90.67	91.30	89.93	91.47	87.96	94.54	88.68	61.90	0.00	100.00	86.77	91.34
認定者数(名)	17	330	34	46	266	69	833	30	30	0	5	191	1,851
認定率(%)	60.71	52.22	80.95	36.80	48.63	41.07	44.52	63.83	46.15	0.00	71.43	58.23	47.95
平均点(点)	64.21	60.01	68.90	56.87	59.03	56.76	57.64	61.87	59.09	0.00	67.71	61.65	58.77
年齢(歳)	39.7	33.6	39.4	32.6	33.0	32.3	36.5	31.4	39.4	0.0	40.3	34.8	35.1
勤続年数(年)	17.0	10.0	16.8	9.8	10.0	9.7	14.3	8.2	16.0	0.0	10.6	10.6	12.3

※ 認定基準は60点(以上)です。表中の平均点・年齢・勤続年数は受験者の数値です。

第32回 金融コンプライアンス・オフィサー 2級試験 都道府県別認定率上位10位

第32回コンプライアンス・オフィサー認定試験、第15回個人情報保護オフィサー認定試験の成績結果につきましては2、3頁でご紹介しましたが、金融コンプライアンス・オフィサー2級では、都道府県別の認定率を集計・作成しました。下記のとおり、認定率が90%超の都道府県もあります。

*申込20名以上の団体を対象としています。また、「都道府県別」については、各団体の本店所在地を都道府県に置き換えて集計・作成しています。

★金融コンプライアンス・オフィサー2級…全国平均74.58%

		認定率	受験者数	認定者数
1位	三重県	95.65%	69名	66名
2位	富山県	88.89%	45名	40名
3位	神奈川県	88.64%	44名	39名
4位	滋賀県	86.36%	22名	19名
5位	東京都	84.85%	1,749名	1,484名
6位	北海道	84.75%	59名	50名
7位	鹿児島県	83.64%	55名	46名
8位	岡山県	82.86%	70名	58名
9位	愛媛県	81.88%	138名	113名
10位	大阪府	81.01%	358名	290名

〔2014年10月実施〕コンプライアンス・オフィサー認定試験のご案内

実施日	願書受付期間	実施種目	出題形式	実施時間	受験料
第33回 2014年 10月26日(日)	2014年 8月18日(月) ~9月8日(月) 必着	金融コンプライアンス・オフィサー1級	事例付記述式	13:30~16:30 (180分)	6,480円 (税込)
		金融コンプライアンス・オフィサー2級	四答択一式	10:00~12:30 (150分)	4,320円 (税込)
		保険コンプライアンス・オフィサー2級			